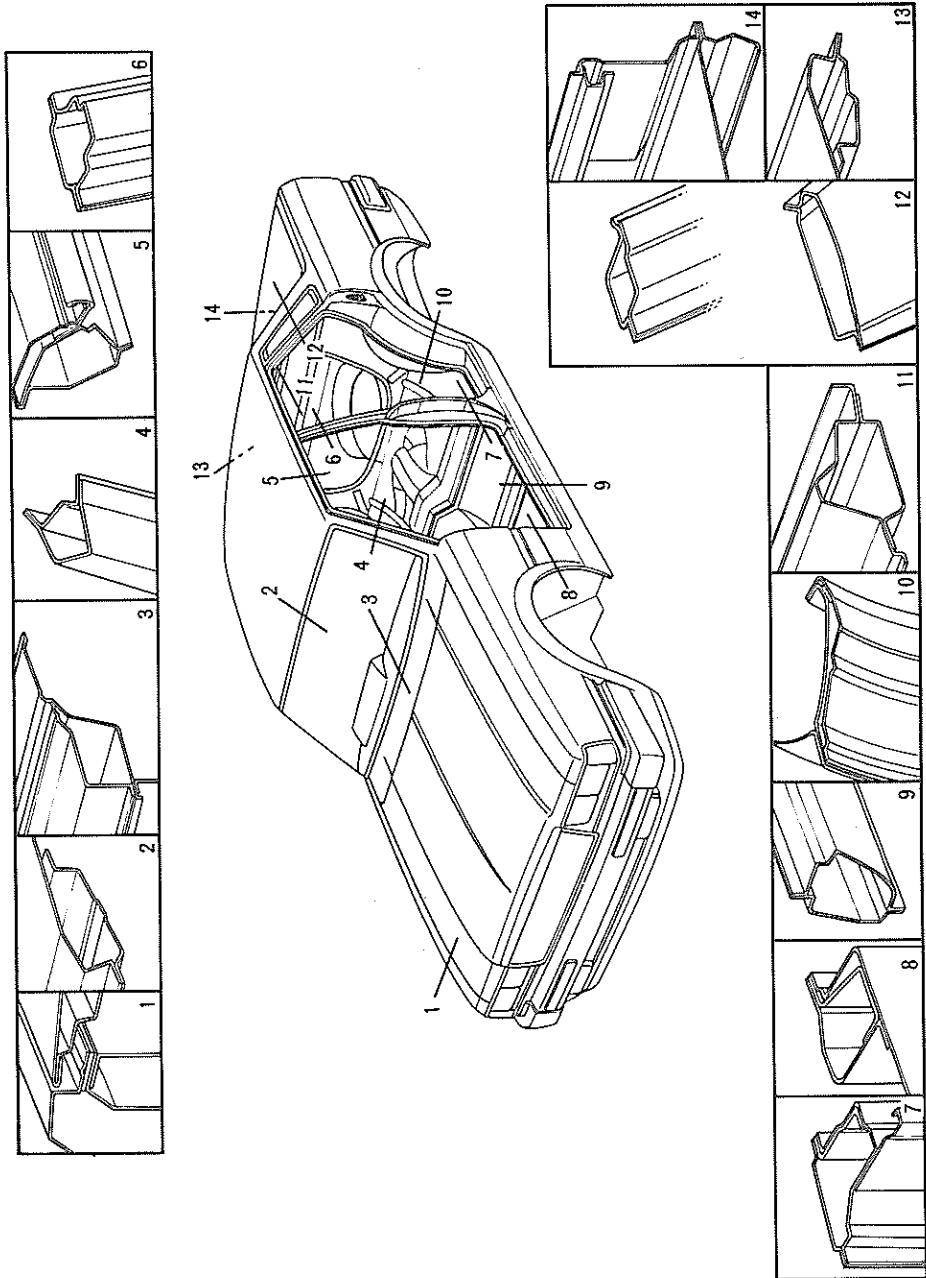


# ボデー — —メイン ボデー—

## 1. メイン ボデー

メイン ボデーは、従来と同じ一体構造式ですが、要所に高張力鋼板を採用し、軽くなったにもかかわらず、剛性の高いものとなりました。

### (1) セダン系

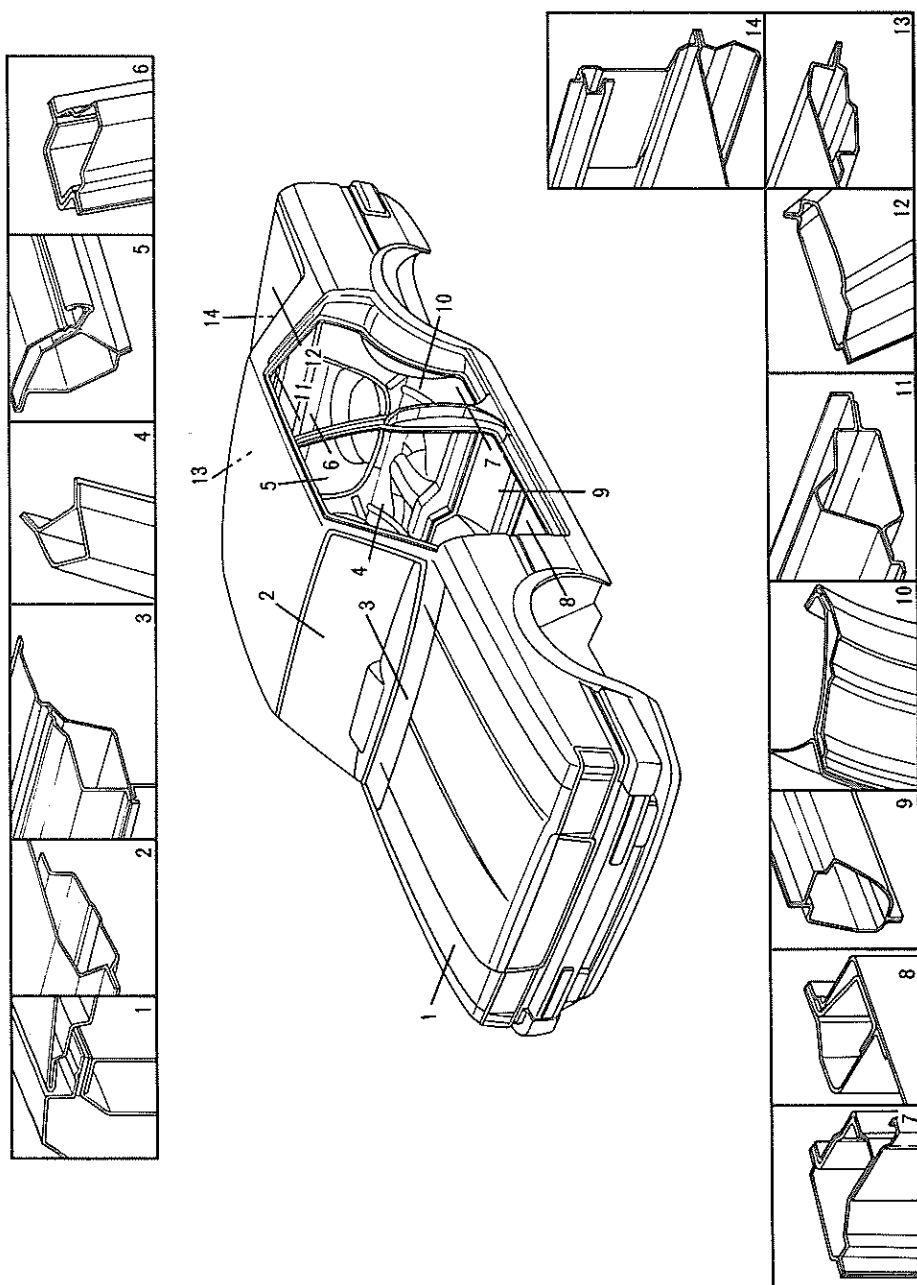


セダン系ボデー断面図

T 9883

ボデー — —メイン ボデー—

(2) ハード トップ系



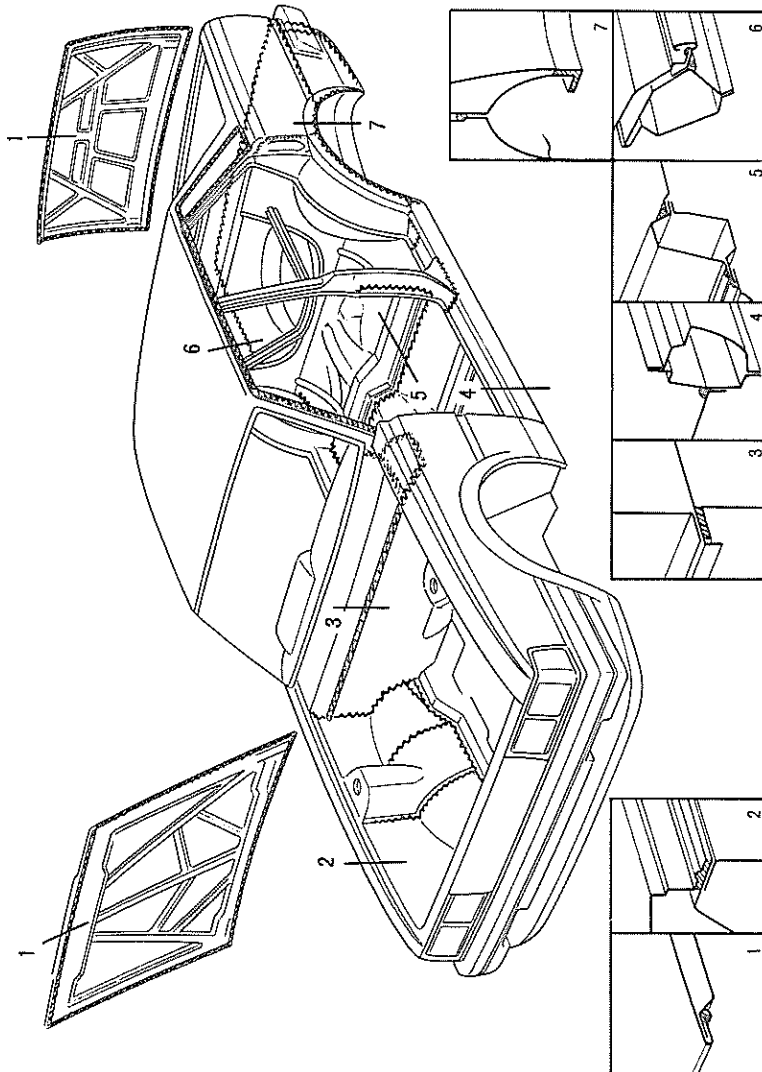
ハード トップ系 メイン ボデー断面図

T 9884

# ボデー — —ボデー シーリング—

## 2. ボデー シーリング

ボデー各部の鉄板合せ部に、ボデー シーラ、ドリツプ シーラを十分に行ないました。



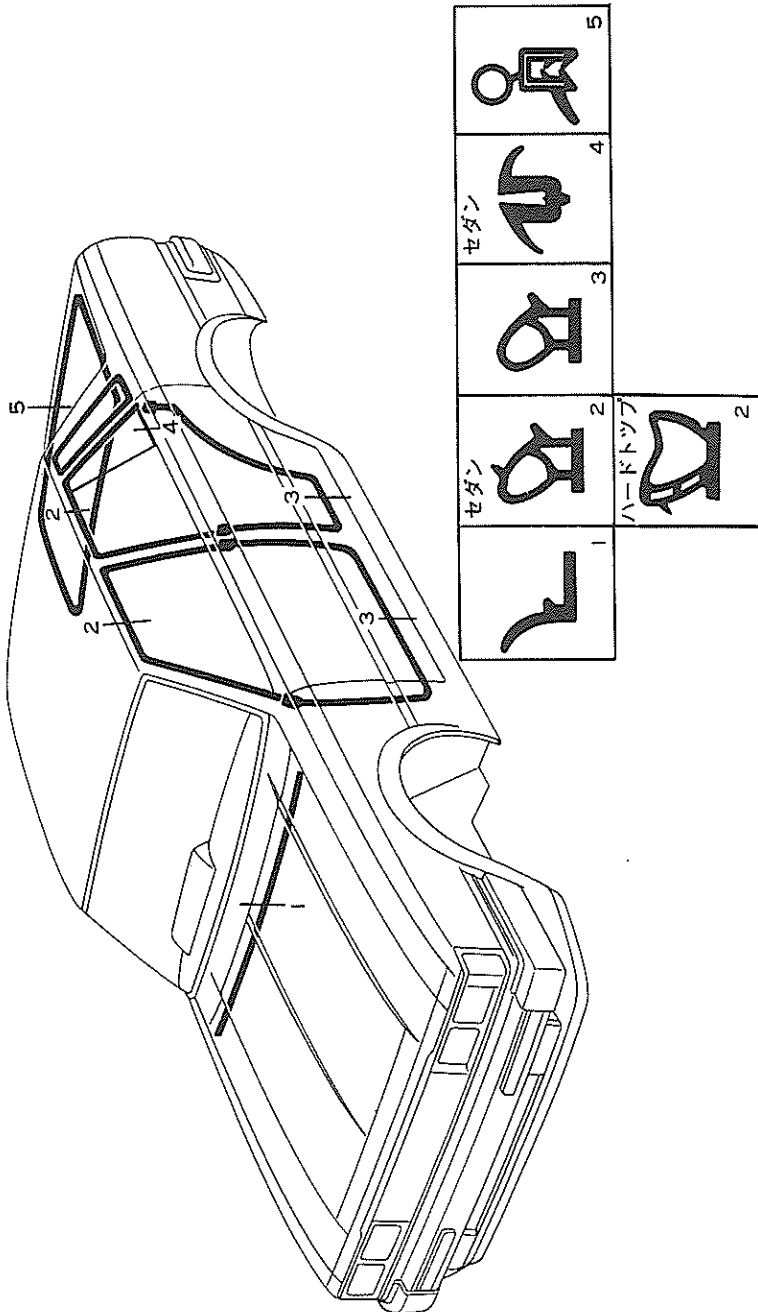
ボデー シーラ

T 9885

# ボデー — ウエザストリップ

## 3. ウエザストリップ

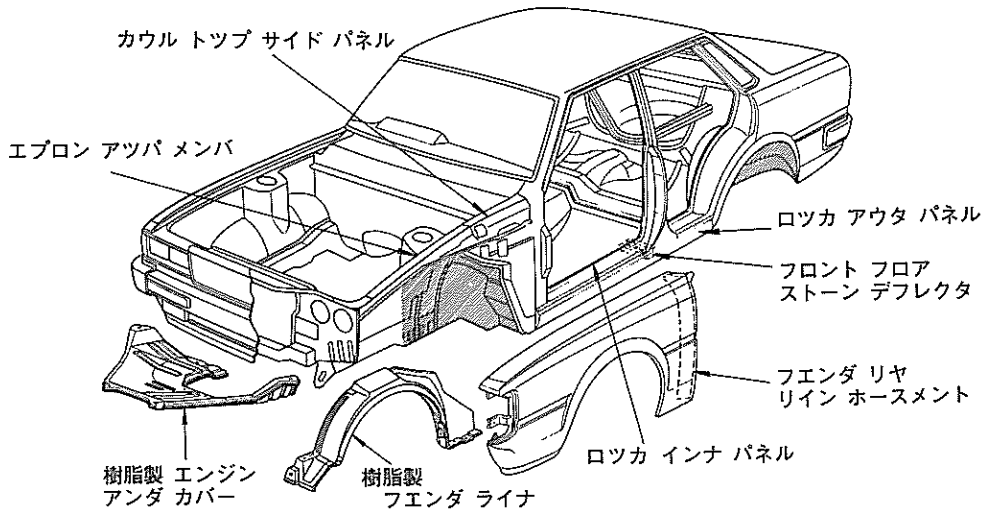
全車ドア ウエザストリップは従来と同じ中空式を採用しましたが、ウエザストリップの背を高くし、シール性をさらに向上させました。



T 9886

#### 4. 防 錆

〔1〕 雨水、泥水等による発錆条件の厳しい部位には防錆鋼板を採用しました。また、エンジン アンダー カバーを樹脂製に変更しました。



防錆鋼板採用部位

T 9948

〔2〕 水が溜らないまたは抜けやすい構造にしました。

〔採用部位〕

- (1) エプロン アツパ メンバー部
- (2) フェンダ リヤ リーンフォース下部
- (3) ウインド シールド下部 (フロント、リヤ)
- (4) ロツカ下側フランジ部水抜穴

〔3〕 モール類の取付部には樹脂グロメツトを採用しました。

- (1) ウインド シールド モール (ロア)
- (2) ホイール アーチ モール
- (3) ロツカー モール

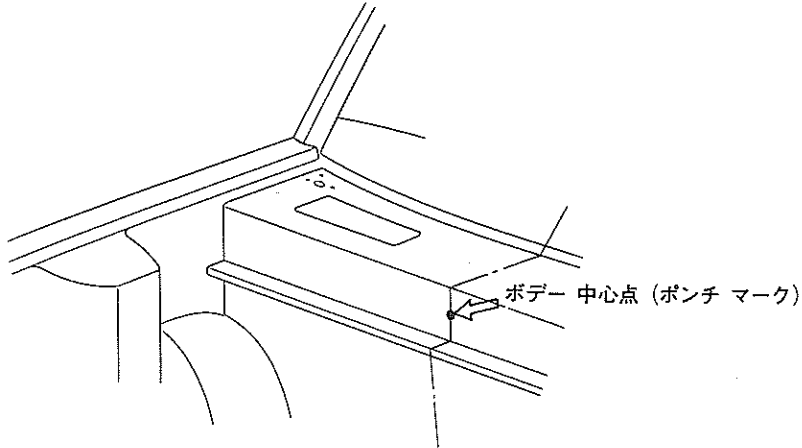
# ボデー — ボデー アライメント —

## 5. ボデー アライメント

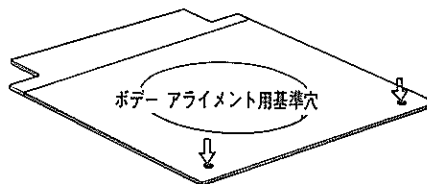
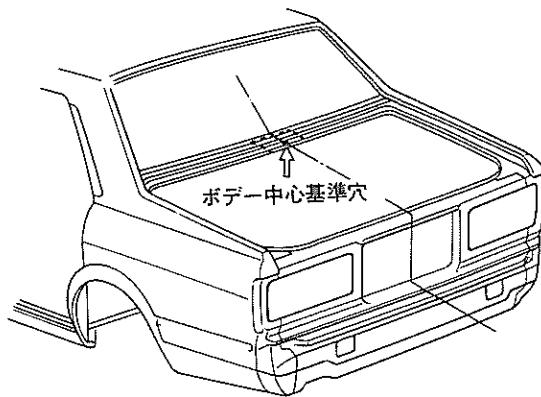
ボデー アライメント測定用の基準穴またはポンチ マークを設定し、板金補修時のサービス性を向上させました。

なお、各部寸法等詳細はボデー寸法図集を参照して下さい。

### 〔1〕 ボデー アライメント測定用ポイント



T 9214



ボデー アライメント測定用ポイント

T 9887

## 6. ボデー外板の面一化

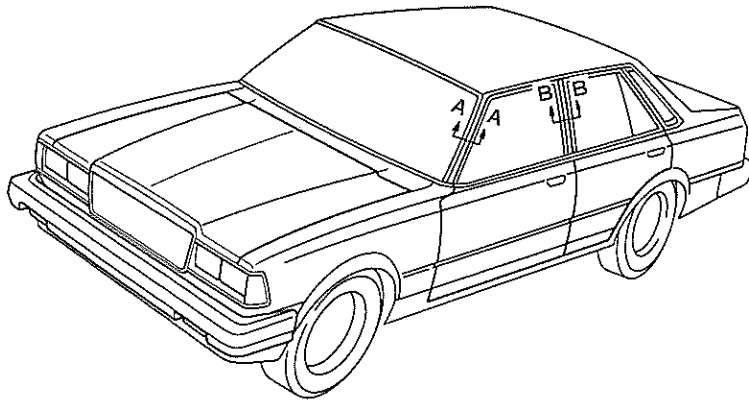
ボデー外板面の段差を極力少なくしてボデー形状をスムーズにし、風切音の防止をはかりました。

### 〔1〕 フロント ピラー

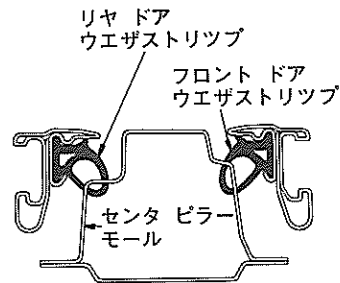
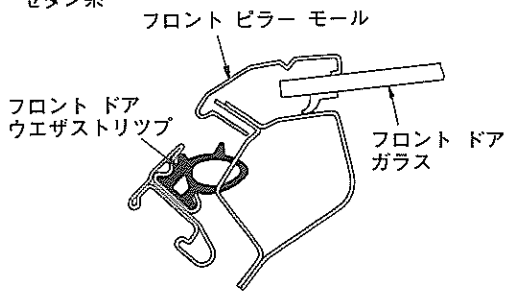
フロント ピラーを細くして、ルーフ ドリツプ モールとウインド モールの一体化をはかり、視界の向上、風切り音の低減および空気抵抗の低減をはかるとともに、フロント ピラー ガーニツシユに水切りを設け、ドア ガラスの汚れ防止を行いました。

### 〔2〕 センタ ピラー

センタ ピラーを細くし、視界の向上および風切音の低減をはかりました。

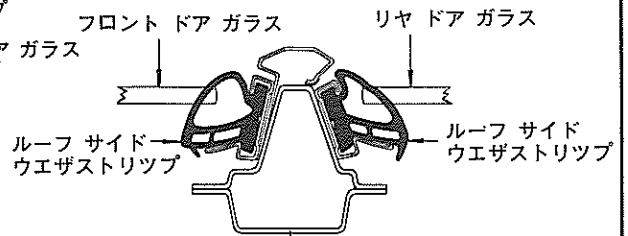
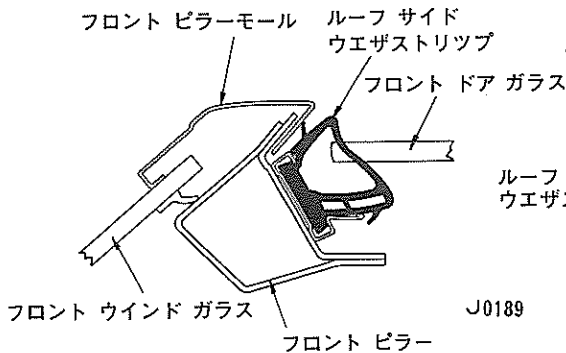


セダン系



T 9888 T 9889 T 9890

ハードトップ系



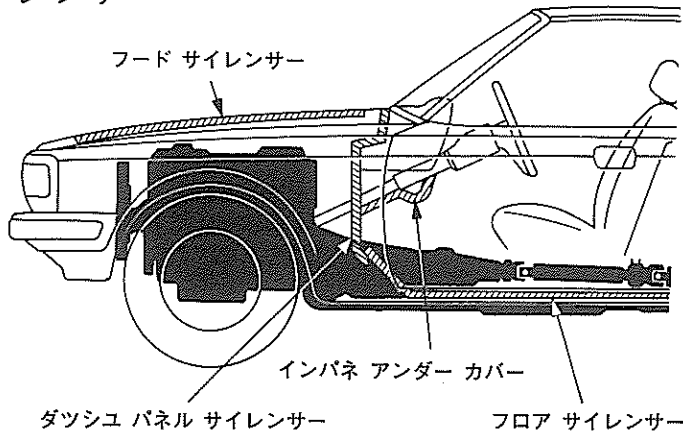
J0189

T 9218

7. 遮 音

各種サイレンサ、アスファルト シート、インパネ アンダ カバーおよびシフトレバー 2 重ブーツの採用により遮音効果を上げています。

(1) サイレンサ

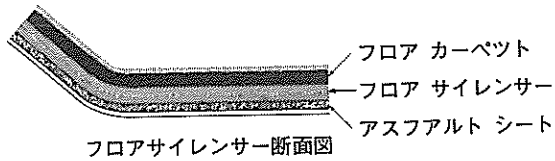


サイレンサ

T 8708

(1) フロア サイレンサ

アスファルト シート、サイレンサ パッドおよびカーペットでフロアの遮音を十分行なっています。

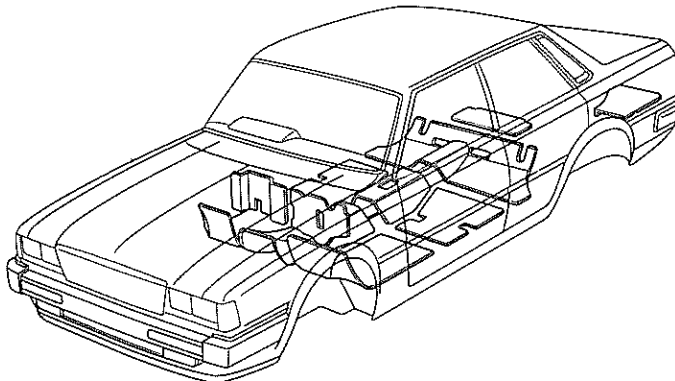


フロアサイレンサー断面図

フロア サイレンサ断面

T 9220

① アスファルト シート

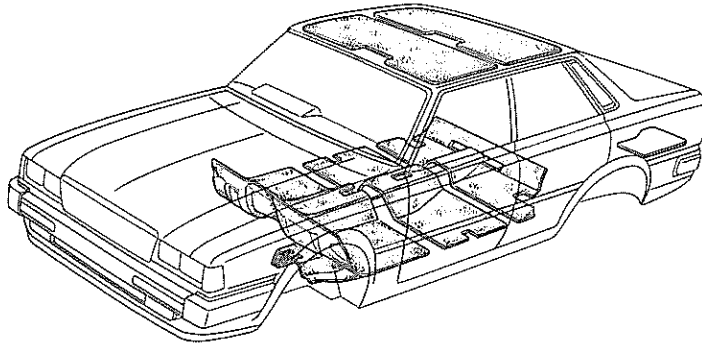


アスファルト シート

T 9891

# ボデー — 遮音 —

## ② サイレンサ パッド

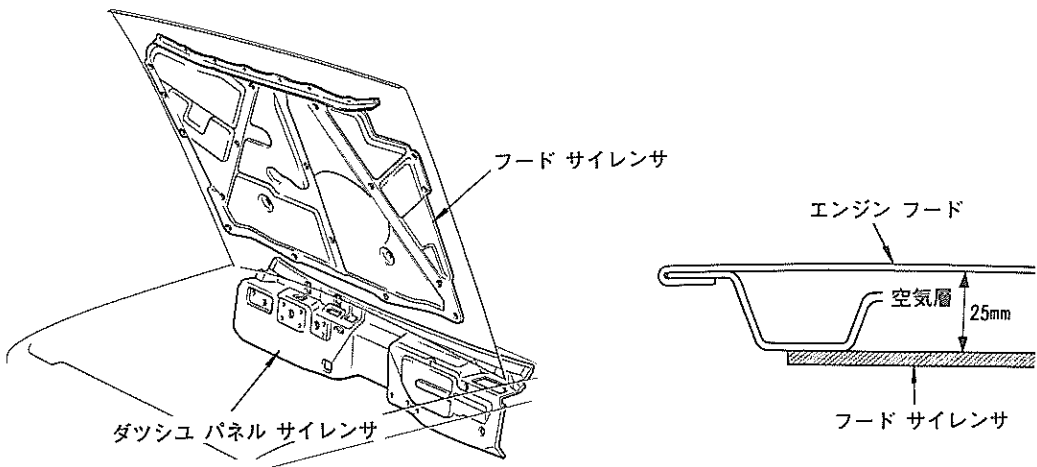


サイレンサ パッド

T 9892

## (2) フード サイレンサ&ダツシュ パネル サイレンサ

- ① フード サイレンサはサイレンサとフードの間の空気層で遮音効果を上げています。
- ② ダツシュ パネル サイレンサはフェルト製のパッドを使用しています。



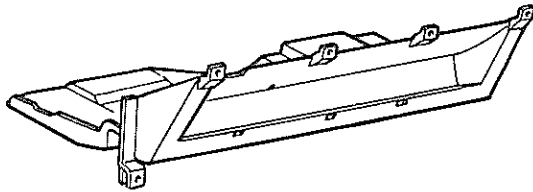
フード サイレンサ & ダツシュ パネル サイレンサ

T 9222, T 9223

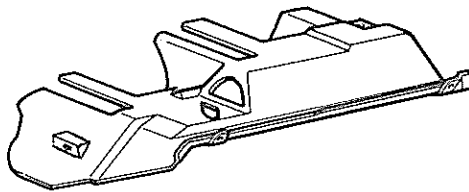
ボ デ — 遮音 —

(3) インストルメント パネル アンダーカバー

インストルメント パネルの下側をカバーで被い遮音効果を上げています。



助手席側



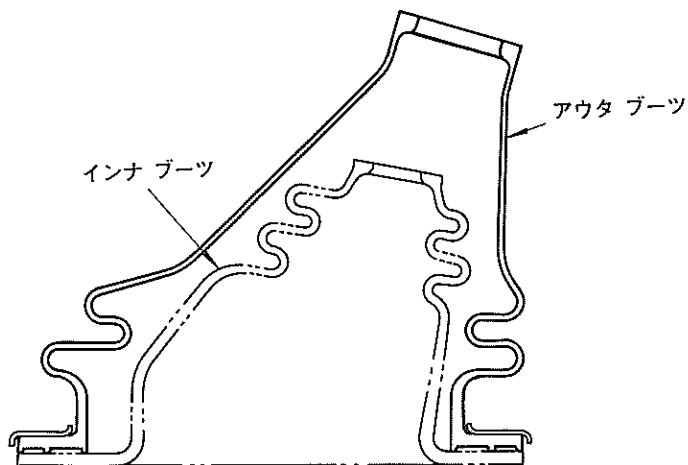
運転席側

インストルメント パネル アンダ カバー

T9949, T8801

(4) 2重シフト レバー ブーツ

マニュアル トランスミッション車に2重シフト レバー ブーツを採用し、シフト レバー部の遮音を良くしています。



2重シフト レバー ブーツ

T9225

8. アクセル関係

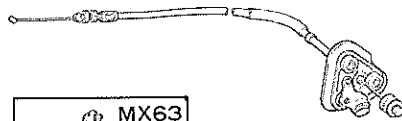
〔1〕 アクセルレータ リング

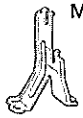




アクセル関係は全車ワイヤ式アクセルレータを採用し静粛性を向上しました。

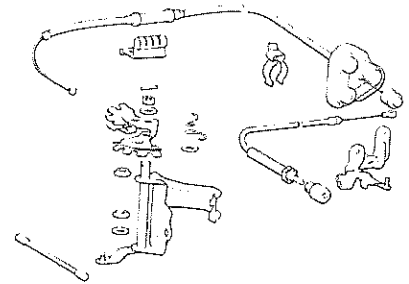
また、アクセルレータ ワイヤとアクセル ペダル結合部にゴム クッションを設けアクセル ペダルへの振動伝達を少なくしました。

〔2〕 アクセル ペダル

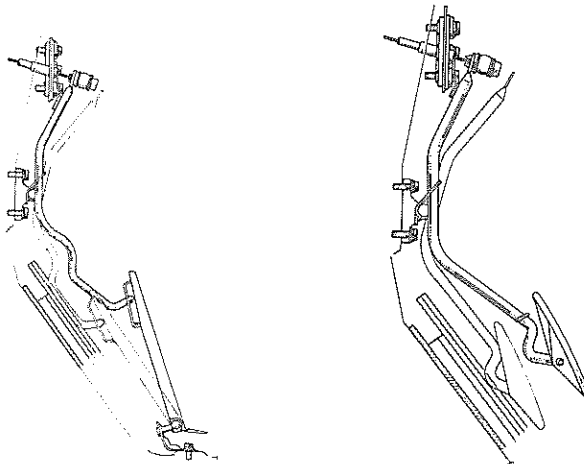
アクセル ペダルは従来通り操作性のよいオルガン タイプを採用しました。また、寒冷地仕様はペダル凍結防止および防寒靴での操作性を考慮してペンダント タイプを採用しました。



 <p>MX63</p>		
 <p>GX60,61</p>	 <p>RX60</p>	
 <p>RX63</p>	 <p>TX60</p>	

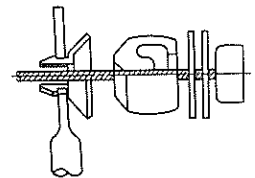


L X 系 J0192, J0193



オルガンタイプ T8816      ペンダントタイプ (⊗仕様車) T8817      アクセル ペダル結合部 T7509

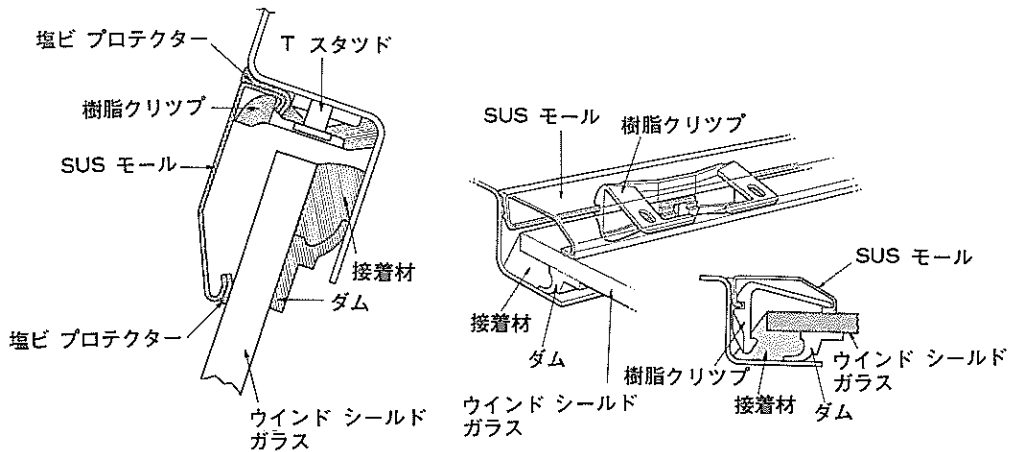
アクセル レータ リング関係図



9. ウインド ガラス

(1) 従来はフロント ウインド ガラスだけが接着式でしたが、今回フロント、リヤ共に接着式を採用しました。

またTスタッドをフロント2本(旧14本)、リヤ5本(旧なし)に減らして、新しく樹脂クリップを採用しました。

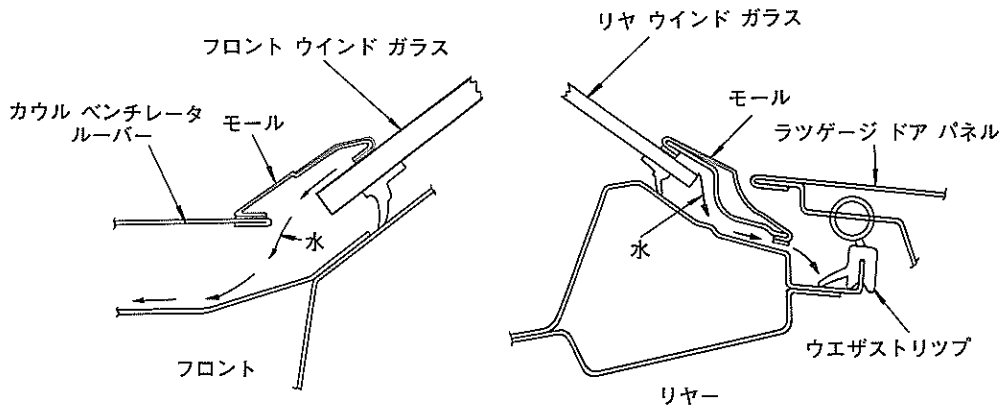


T 9226

T 9894

ウインド シールド ガラス

(2) ウインド下部のボデー構造を水のたまらない構造とし、防錆効果を高めました。



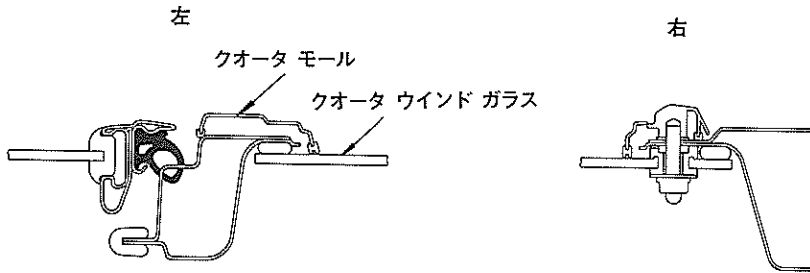
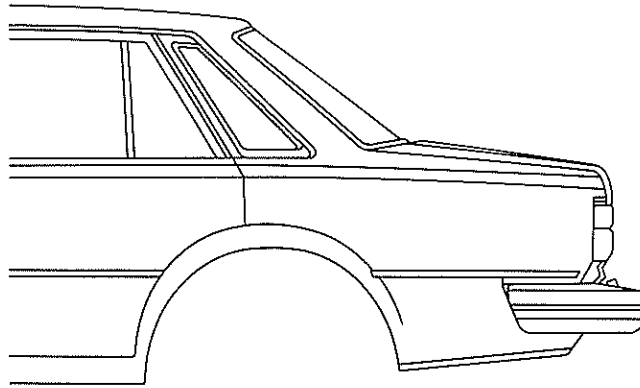
T 9227

T 9228

ウインド シールド ガラス

# ボデー — ウインド ガラス —

(3) セダン系にクオータ ウインドを追加し、後方視界の拡大をはかりました。



T 9895, T 9896

クオータ ウインド

## ガラス仕様一覧表

種 類	グレード	ボデー形状		セ ダ ン			ハ ード ト ッ プ	
		STD	DX, GL, GR, GT, LE, LG, LGツーリング	グランデ	DX, GL, GR, GT, LE, LG, LGツーリング	グランデ		
フロント	部分強化ガラス (5mm)	○	○		○			
	合わせガラス(上部 ティンテッド)(5.3mm)			○		○		
フロント	強化ガラス (4mm)	○	○	○				
ドア	強化ガラス (5mm)				○	○		
リヤ ドア	強化ガラス (3.5mm)	○	○	○				
	強化ガラス (5mm)				○	○		
クオータ	強化ガラス (3.5mm)	○	○	○				
リヤ	強化ガラス (4mm)	○						
	強化ガラス(熱線入) (4mm)	△	○	○	○	○		

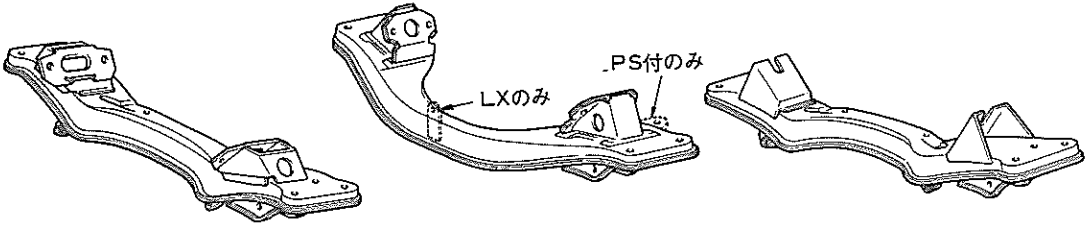
○ 標準装着 △ オプション装着

# ボデー — —サスペンション メンバー

## 10. サスペンション メンバ

### [1] フロント サスペンション メンバ

フロント サスペンション メンバはエンジン型式およびパワー ステアリング装着の有無により6種類設定しました。またエンジン アンダ カバーはエンジン型式により3種類設定しました。



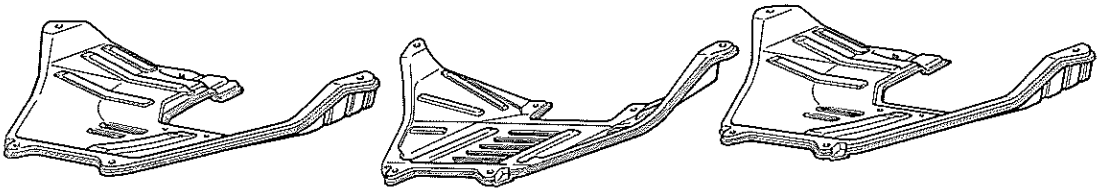
G X, M X 系

L X, R X 系

T X 系

フロント サスペンション メンバ

T 9897



M X 系

G X 系

R X, T X 系

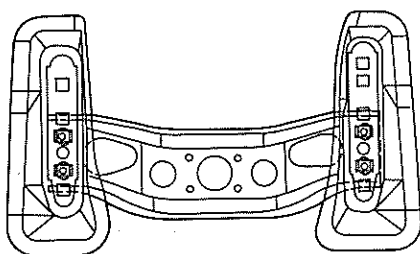
エンジン アンダ カバー

T 9898

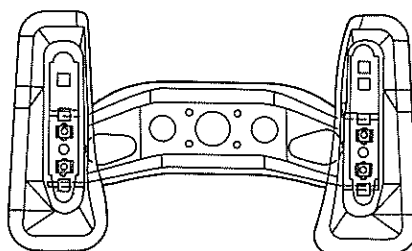
# ボデー — サスペンション メンバー

## 〔2〕 エンジン リヤ サポート メンバ

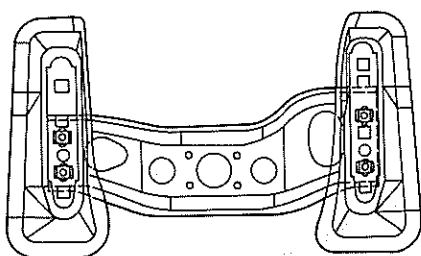
エンジン リヤ サポート メンバは 3 種類ですが車種により取り付け位置および方向が異なります。



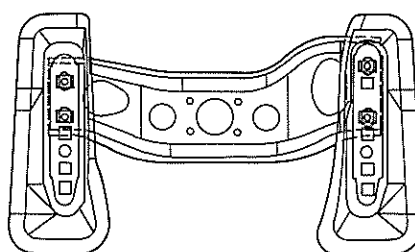
GX(A40D), RX(A40D)



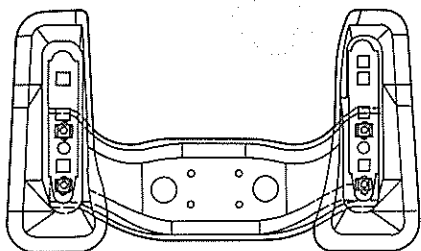
TX(A40)



GX(W45, W55), RX(W45, W55), LX(W55)



TX(W45)



MX(A43D), LX(A42D)

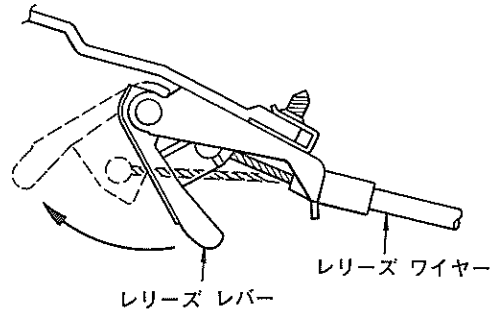
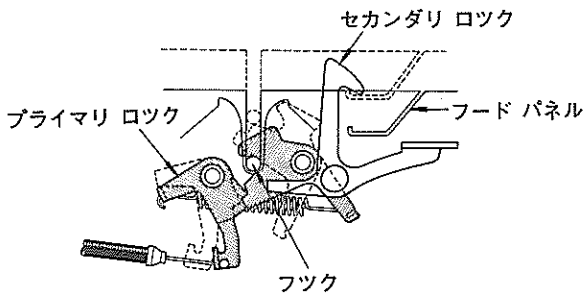
エンジン リヤ サポート メンバ

T9899

# ボデー — エンジンフード —

## 11. エンジンフード関係

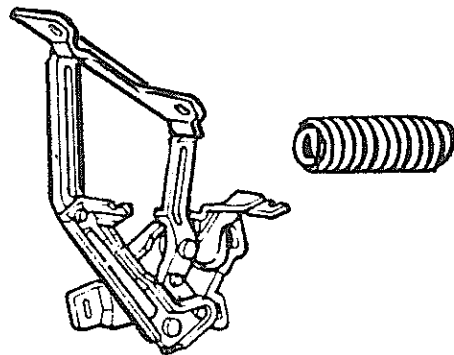
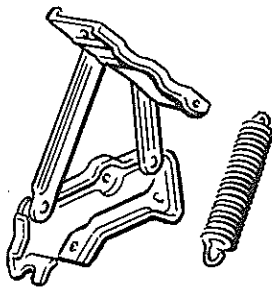
- (1) フードロック リリース レリーズ レバーをインストルメント パネル内に突出することなく納め、安全性、操作性を向上しました。
- (2) フード ロックは従来同様安全性の高いクロー ラッチ タイプを採用しました。



クロー ラッチ タイプ ストライカ T8830

フード ロック リリース レバー T8792

- (3) フード ヒンジは従来のパンタ グラフ式からリンク式に変更し、操作性を向上しました。



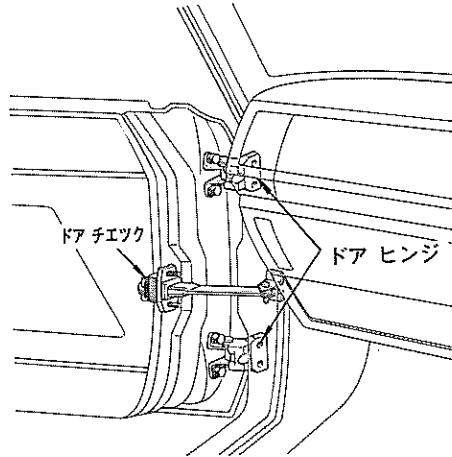
フード ヒンジ

T9990

## 12. ドア 関係

### 〔1〕 ドア ヒンジ

従来と同様アツパーとローワー ヒンジの間にドア チエツクの付いた機構を採用しています。

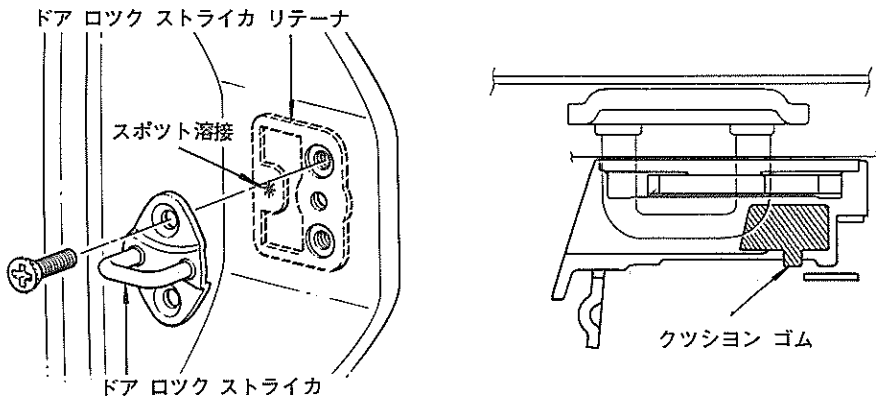


ドア ヒンジ関係図

T 9231

### 〔2〕 ドア ロック

ドア ロック機構はフード ロック同様信頼性の高いインタ ロック タイプですがロック部分にクッション ゴムおよび樹脂プロテクタを追加し、ドアの閉じ音に配慮しました。また、ドア ロック ストライカ リテーナを固定して、ドアの建付精度を向上させました。ただし、ドア調整はドア ロックに力を加えるとリテーナが変形するので調整可能です。

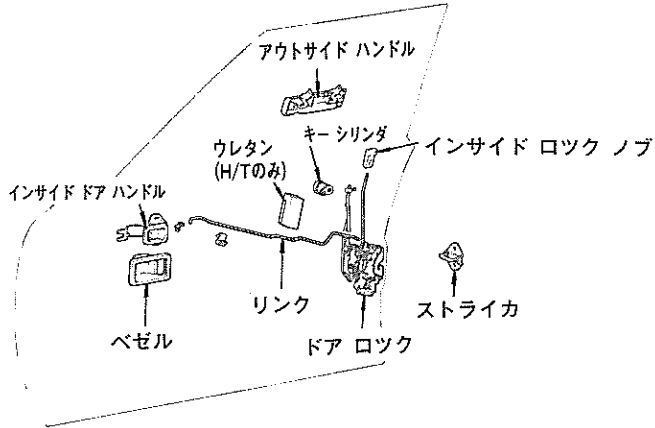


ドア ロック構成図

T 9230, T 4694

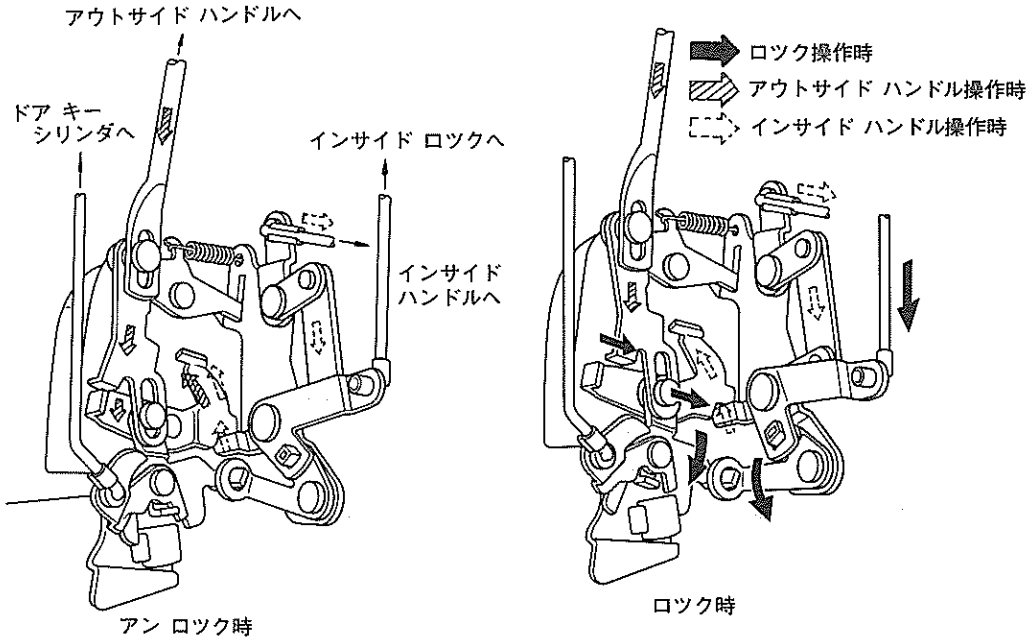
ボデー — ドア関係 —

(1) フロント ドア ロック関係



フロント ドア ロック構成図

T 8698



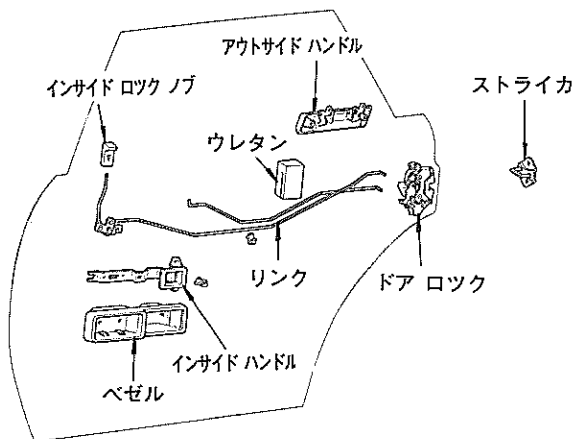
ドア ロック作動図

T 8844, T 8845

ボ デ — — ドア関係—

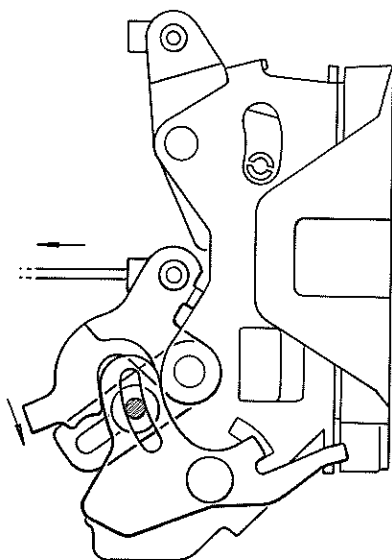
(2) リヤ ドア ロック関係

全車にチャイルド ブルーフを採用しました。

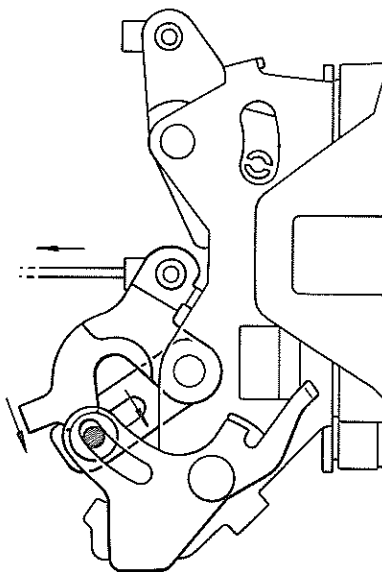


リヤ ドア ロック構成図

T 8700



ロック時



アン ロック時

チャイルド ブルーフ

T 8701

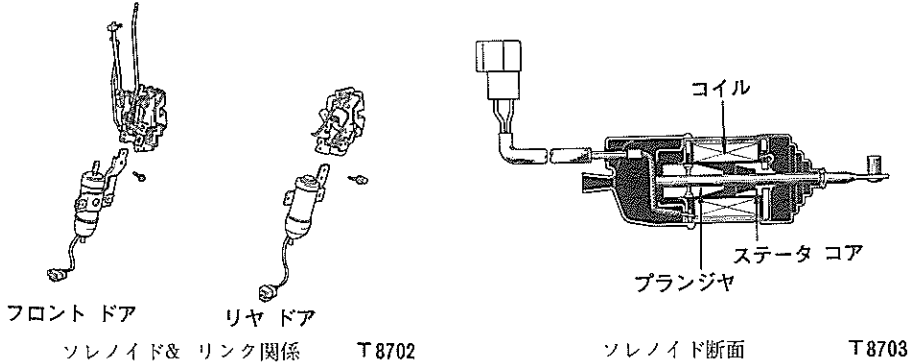
# ボデー — ドア関係 —

## (3) 電磁式ドア ロック

電磁式ドア ロックをLG, グランデ仕様およびLXのエクストラ仕様に標準設定しました。

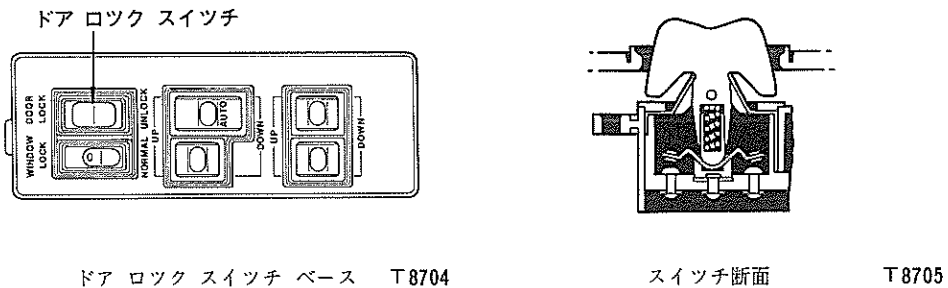
### ① ソレノイド& リンク

ドライバ側ドア ロックは、ドア インサイド ハンドルでロック解除できます。



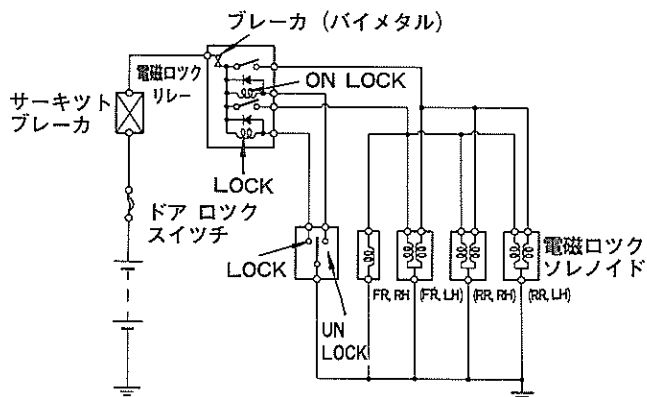
### ② ドア ロック スイッチ

大型アーム レストにドアロック スイッチを取り付けました。



### ③ 回路図

サーキット ブレーカ



電磁式ドア ロック回路図

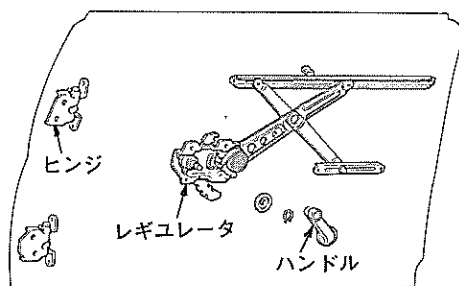
T8706

# ボデー — ドア関係 —

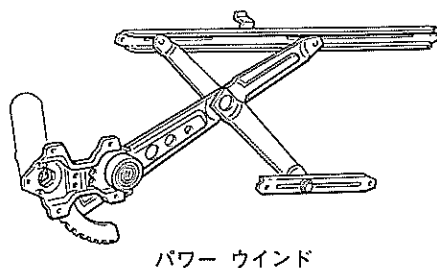
## 〔3〕 ドア レギュレータ

(1) ドア レギュレータはアーム式を採用し、ドア ガラスのガイドはセダン系はフロント、リヤとも2本、ハード トップ系はフロントは2本、リヤは1本使用しています。

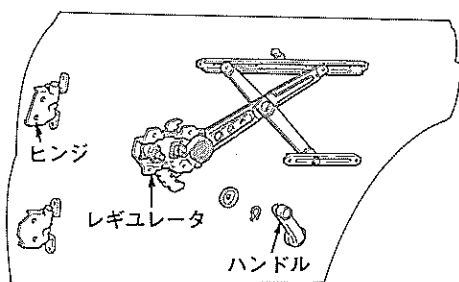
### セダン系



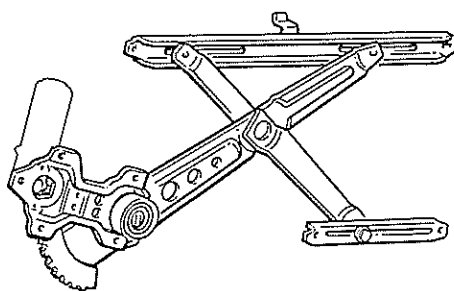
フロント ドア レギュレータ



J0808, J0809



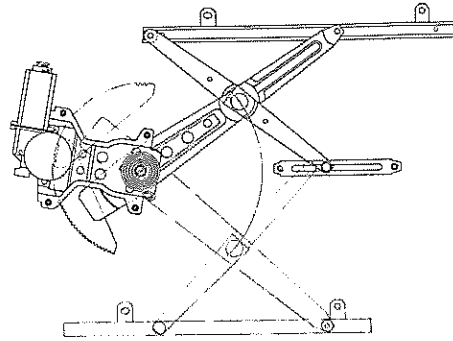
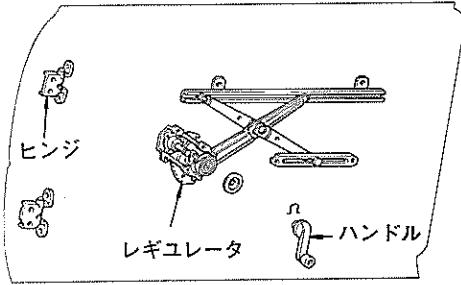
リヤ ドア レギュレータ



J0810, J0811

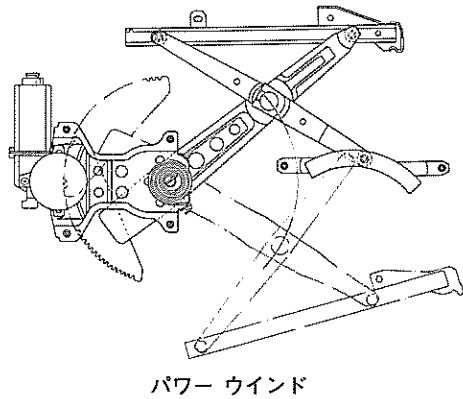
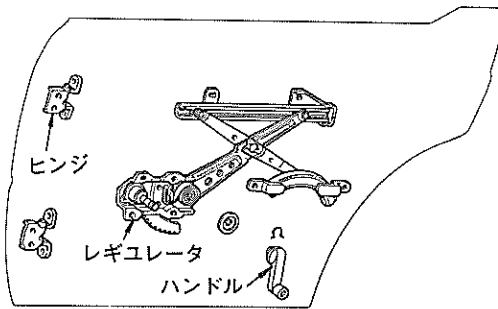
ボデー — ドア関係 —

ハードトップ系



フロント ドア レギュレータ

T8734, T8735

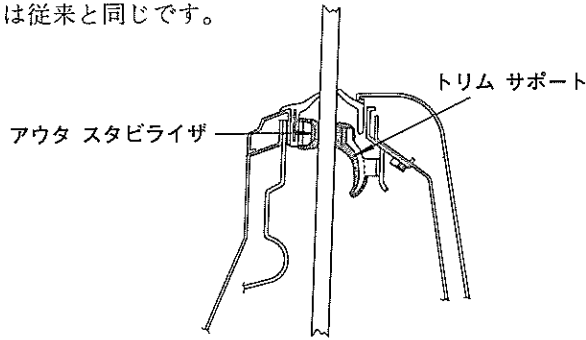


リヤ ドア レギュレータ

T9306, T9282

# ボデー — ドア関係 —

(2) ハードトップ系は全閉時のドア ガラス横剛性を向上させるため、ドア ガラスをはさむ形でアウト スタビライザとトリム サポートを設定しました。  
セダン系は従来と同じです。



ドア ベルトライン断面 (H/T)

T9232

## (4) パワー ウィンド

パワ ウィンド仕様

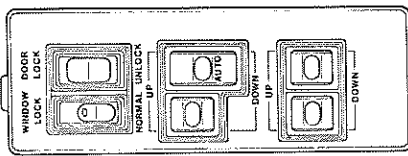
● 標準 ○ メーカー オプション

グレード	STD	DX	GL	GR	GT	LE	LG	LG ツーリング	グランデ
パワ ウィンド (ワンタッチ式)			※ ●	○			●	○	●

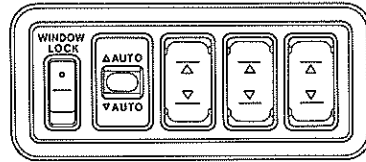
※ L Xのエクストラ仕様のみ

### (1) パワー ウィンド スイッチ

- ワンタッチ機構は運転席ドア ウィンド ガラスのみワン タッチで全開、全閉するものでオート スイッチの操作で作動させます。
- パワー ウィンド ロック スイッチをONにすると運転席側マスタ スイッチ以外ではパワー ウィンドが作動しない構造になっており安全性を向上させました。

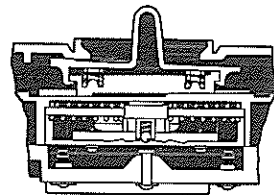
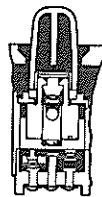
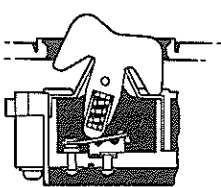


LG, グランデ, LXのエクストラ仕様



LG ツーリング仕様

パワー ウィンド マスタ スイッチ



スイッチ配置図 & 断面図

T8704, T9233, T8704, T8705

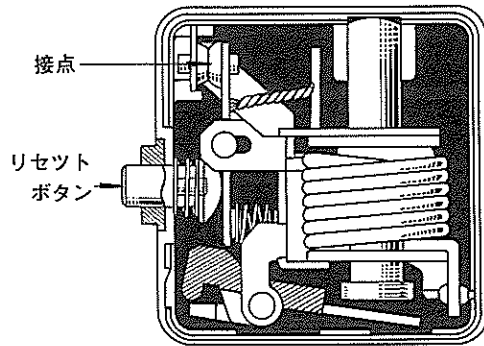
# ボ デ — ドア関係—

## (2) サーキット ブレーカ

パワー ウインドおよびドア ロックの電源回路にサーキット ブレーカを設け、モータ、スイッチおよび配線を過電流から保護しています。

サーキット ブレーカには2つの機能があり1つは回路で電流に流れつばなしになったとき、スイッチやモータを補護するためにパワー ウインド モータ内のサーキット ブレーカが回路を遮断します。この場合は通電がなくなればしばらくしてサーキット ブレーカは自動復帰します。

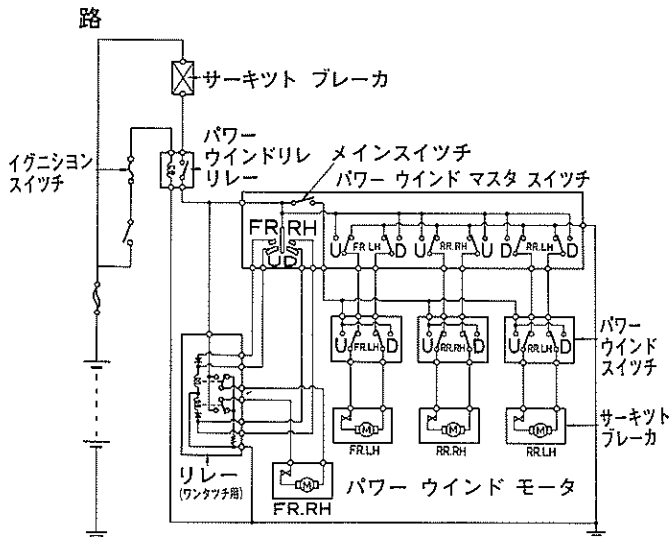
もう1つの機能は回路に短絡があつた場合、回路を焼損等から保護するためにサーキット ブレーカで遮断します。この場合はサーキット ブレーカは自動復帰しないので保護はより完全なものとなります。なお、サーキット ブレーカを復帰させるにはブレーカについているリセット ボタンを押せば復帰します。



サーキット ブレーカ

T 8812

## (3) 回 路



パワー ウインド回路図

T 8625

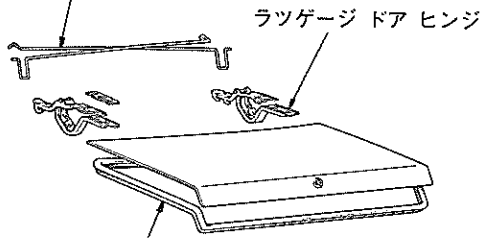
13. ラツゲージ コンパートメント

〔1〕 ラツゲージ コンパートメント ドア

ラツゲージ ドア ヒンジは従来と同じアーム ヒンジ+トーシヨン スプリング方式を採用しました。

〔2〕 ラツゲージ ルームの開口部を大きく取り、荷物の積み下ろしを便利にしました。

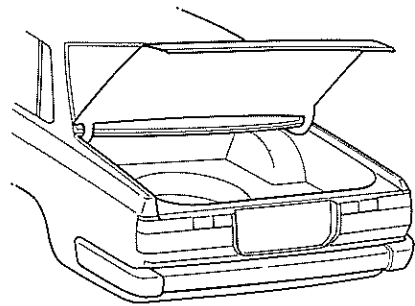
トーシヨン スプリング



ウエザストリップ

ラツゲージ ドア

J0190

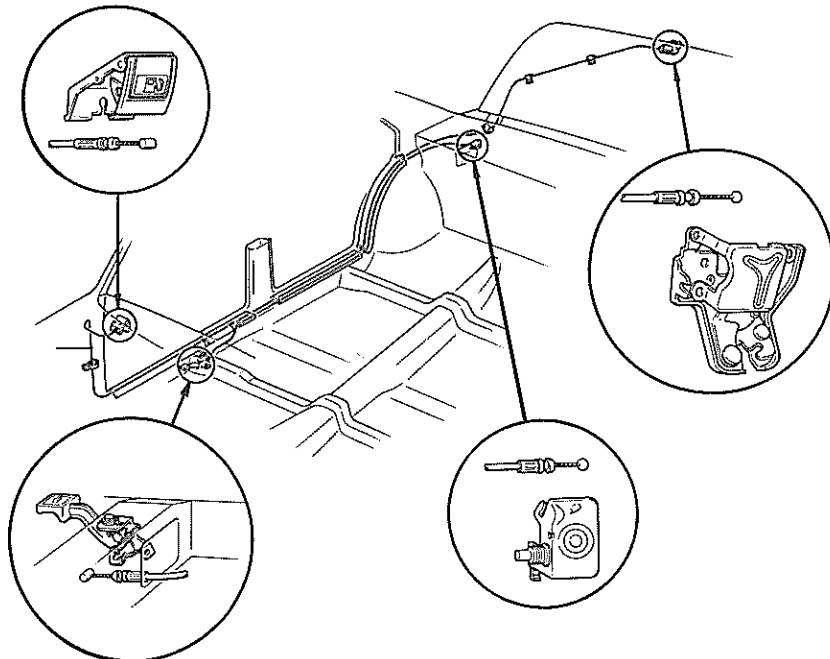


ラツゲージ ルーム

T9901

〔3〕 トランク オープナ&フューエル リッド オープナ

従来と同様キャンセル機構付トランク オープナとフューエル リッド オープナをデラックス仕様以上の全車に標準設定しています。なお、オープナのレバーをフロアとインパネに分け誤操作を防止しました。



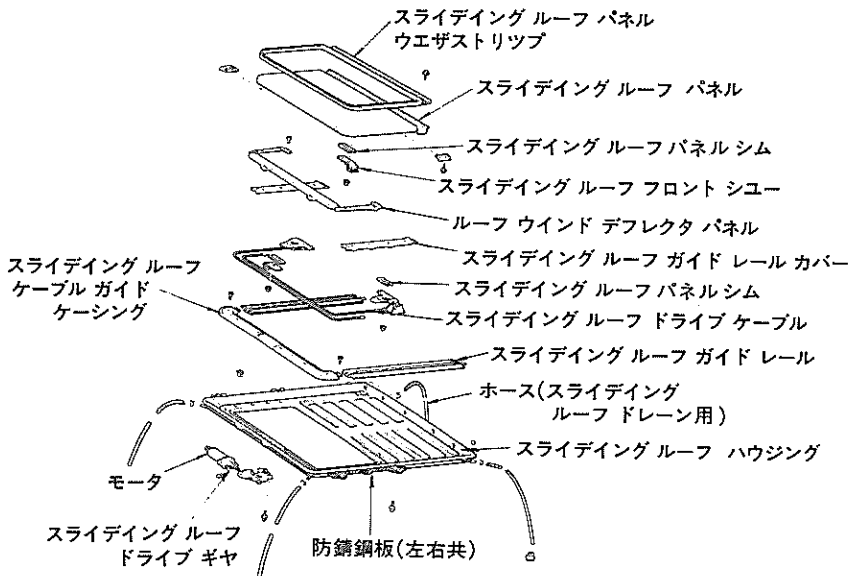
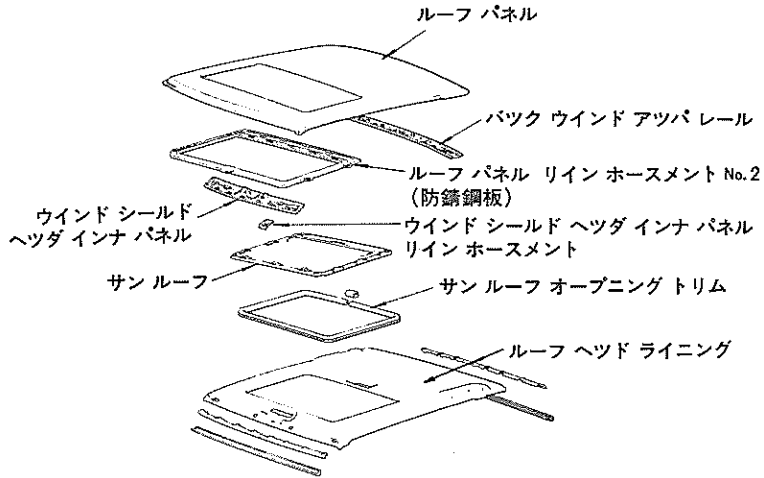
フューエル リッド オープナ & トランク オープナ

Z2766

# ボデーサンルーフ

## 14. サンルーフ

グランデ(2000ccのみ), LGツーリング, GT仕様のセダン系に電動式サンルーフをオプション設定しました。



構成部品

T 9902, T 8868

# ボ デ ー ーサン ルーフー

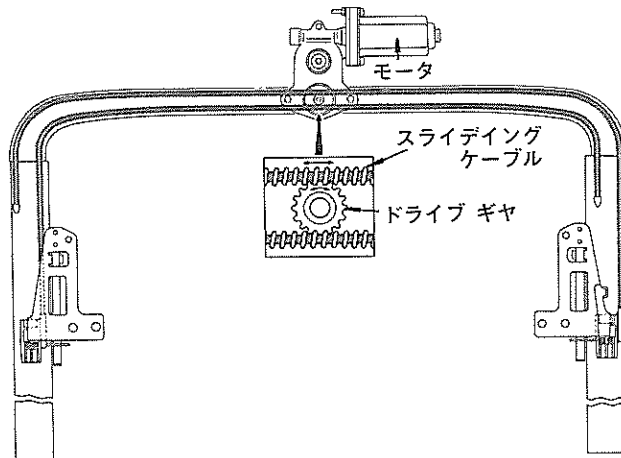
## 概 要

電動式サン ルーフはマツプ ランプ スイッチ部の中央のスイッチを押すことにより、ルーフ パネルの一部が後方に移動し、室内の換気を行なうとともに、真射日光を取り入れて、新鮮で爽快な走行を約束するものです。

また開口部前端にルーフ ウインド デフレクタを採用し、風切り音の発生を抑えるとともに、風の巻き込みを防止しています。

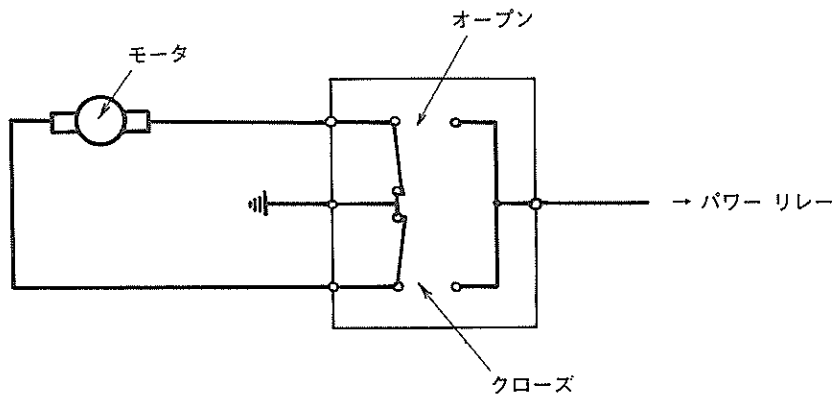
### (1) スライディング機構

室内に設けられたモータが回転すると、ドライブ ギヤによりスライディング ケーブルがしゅう動し、それと結合されたスライディング ルーフ パネルが前後します。



スライディング機構関係図

T 9017



回 路 図

T 9903

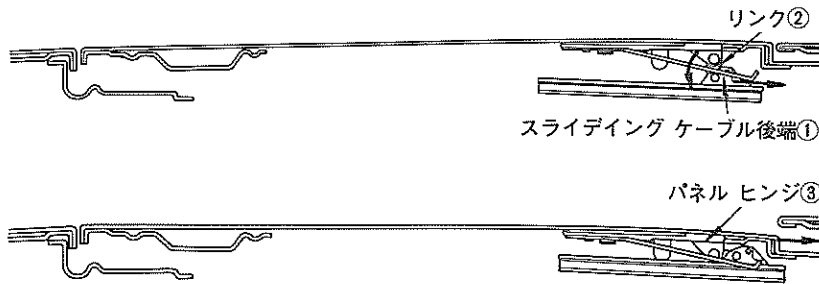
# ボデーサンルーフ

## (2) 開閉リンク機構

スライディング ルーフ パネルはサン ルーフ 全閉時にはルーフ パネルと同一曲面上にあります。

このためサン ルーフ 開時は後端が一段下がった後ルーフ パネル内に収納されていきます。この作動を行なうのがリンク機構です。

スライディング ケーブルの後端①が後方に移動することにより、リンク②は回転して横になり、パネル ヒンジ③は下へ一段下がります。



開閉リンク機構

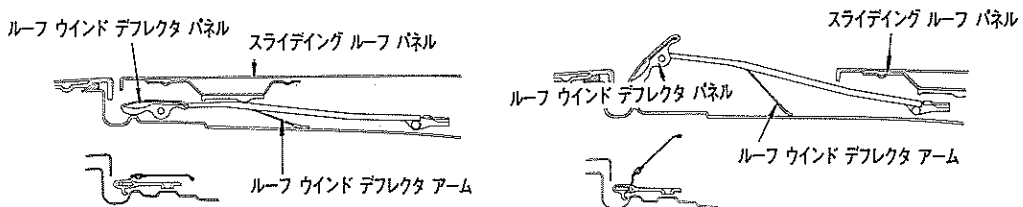
T 9018

## (3) ルーフ ウインド デフレクタ

サン ルーフ 開時の走行中、風切り音の防止と風の巻き込み防止のためルーフ ウインドデフレクタを採用しました。

スライディング ルーフ パネルが前方へ移動することにより、ルーフ ウインド デフレクタ アームを押し下げ、前端に取り付けられたルーフ ウインド デフレクタ パネルを倒して、サン ルーフ 内に格納します。この時、ルーフ ウインド デフレクタ パネルは前方へ移動します。

また、サン ルーフ 開時には、ルーフ ウインド デフレクタ アームのスプリング力によつて自動的にルーフ ウインド デフレクタ パネルは起き上がってきます。



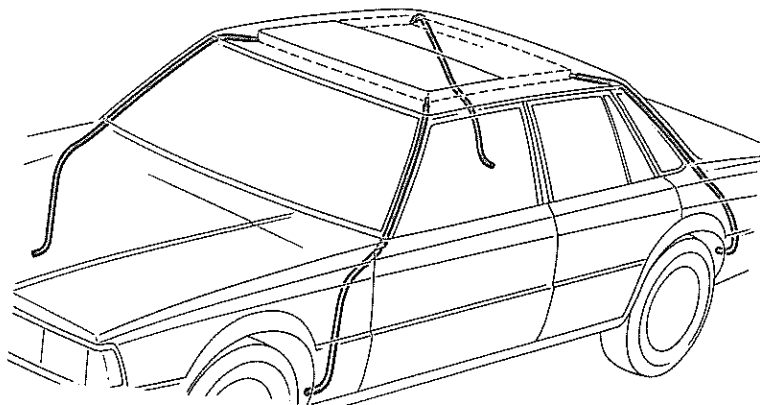
T 9019

ルーフ ウインド デフレクタ T 9020

## ボ デ ー ーサン ルーフー

### (4) 排 水 ホ ー ス

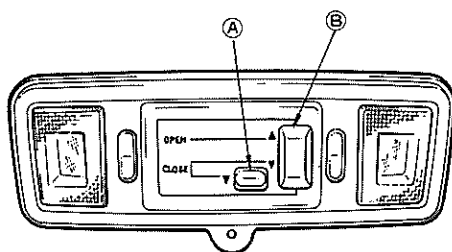
スライディング ルーフ パネルのウエザストリップ部からの水はルーフ パネル イ  
ンナの雨どいを伝わり、4本の排水ホースにて車外に排水されます。



排 水 ホ ー ス

T 9904

### (5) 電 動 操 作 方 法



ス イ ッ チ

T 9905

#### ① 開 時

サン ルーフ 用スイッチの②の  
ボタンをOPEN側に押せば開きま  
す。

#### ② 閉 時

危険防止のため閉時は2段階の  
操作になっています。

まず①のボタンをCLOSE側に  
押し続け②のボタンもCLOSE側  
に押せば閉じることができます。

## ボデー — サン ルーフ

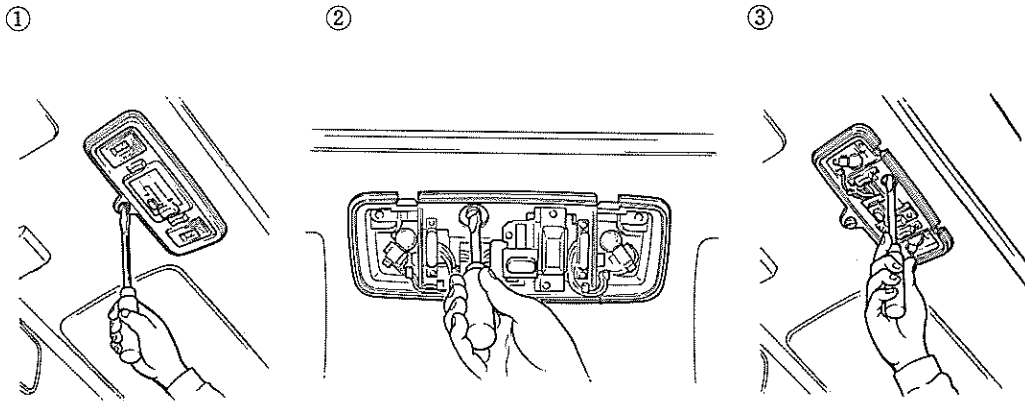
### (6) 手動操作方法

万一、モータが故障した場合はドライバーを使用して閉じることができます。

この操作方は右サン バイザ裏面にも記載してあります。

- ① サン ルーフ スイッチ部の蓋を⊖ドライバーを使用して取りはずす。
- ② 駆動軸下端のスクリユを取りはずす。この時ワツシヤおよびシムもはずれますので紛失しないようにして下さい。
- ③ 駆動軸を⊖ドライバーを使用して時計回りに回転させればスライディング パネルは閉じる方向に動きます。

(注) スライディング パネルを前方に引いてからドライバーで完全に閉じてください。



手動操作方法

J0769, J0770, T9906

### (7) 取り扱い上の注意

- ① 走行中はサン ルーフの開口部から手や顔を出さないでください。
- ② スライディング ルーフ パネルの上に乗ったり、腰かけたりしないでください。
- ③ 降雨時には、スライディング ルーフ パネルは確実に閉めてください。
- ④ 洗車ホースなどにて、大量の水をウエザストリップ部にあてると、排水能力を超える量の水が、車内に入る場合がありますので、ご注意ください。
- ⑤ 降雨時や洗車直後に急旋回、急発進をされますと、ルーフ パネル インナの雨どいにたまった水が室内に振り落とされる場合があります。
- ⑥ サン ルーフが全開、全閉した場合は、スイッチから手を離してください。
- ⑦ 車両から離れる時はスライディング ルーフ パネルが完全に閉じていることを確認してください。
- ⑧ スイッチを操作する時は、スライディング ルーフ パネルで手をはさまないように充分注意してください。